ＰＰＰ／ＰＦＩの実践に向けて

＼2024年3月16日　北陸新幹線延伸／

令和５年度
第２回

ふくい地域プラットフォーム

入場無料

このたび、PPP/PFI推進に向けた令和５年度第２回「ふくい地域プラットフォーム」を開催します。
今回は、JR芦原温泉駅西口に位置する金津本陣にぎわい広場内のaキューブ部分の利活用について、あわら市からの概要説明の後、官民対話型ワークショップを行います。多くの方のお申込みをお待ちしております。

JR芦原温泉駅前 金津本陣にぎわい広場内ａキューブ部分の利活用について

日 時：2023年11月27日（月）13：30（開場　13：00）
会 場：あわら市役所３階正庁　福井県あわら市市姫3丁目1番1号
対 象：民間事業者、地域金融機関、地方公共団体等
定 員：会場50名、オンライン（Zoom）100名（いずれも先着順）
※ オンライン参加はプログラムⅠ、Ⅱ、Ⅲまで（ワークショップは会場参加者のみ）

【プログラム】

Ⅰ．挨拶　あわら市副市長　前川 嘉宏 氏

Ⅱ．セミナー

①『PPP事業について～官民連携による賑わい創出の事例～』（約40分）
国交省PPPサポーター
八千代エンジニヤリング株式会社 事業開発本部
第二開発室 室長　奥平 詠太 氏

【講師プロフィール】
八千代エンジニヤリング株式会社入社後、再開発等の駅前街づくり業務や、PPP/PFI事業に係る導入可能性調査及びアドバイザリー業務に従事
2010年ふるさと財団・内閣府にてPPP/PFI 事業の派遣講師、2019年国土交通省PPPサポーター　歴任

②『敦賀駅西地区土地活用事業について』（約20分）
敦賀市都市整備部長　小川　明　氏

Ⅲ．事業紹介（約20分）
『金津本陣にぎわい広場内ａキューブ部分の利活用について』
あわら市 経済産業部 商工労働課

Ⅳ．官民対話型ワークショップ（約90分）
JR芦原温泉駅西口に位置する金津本陣にぎわい広場内のａキューブ部分の利活用について、民間ならではの知恵やアイデア、ノウハウを活かした提案を募集致します。別添資料をご覧いただき、まずは市の利活用案について、ぜひ皆様の忌憚のないご意見・ご感想をお聴かせください。

～ 現地見学会（プラットフォーム当日 11:00～)を行います ～

【集合場所】 JR芦原温泉駅前　aキューブ　※参加ご希望の方は、申込みにあわせてお知らせください。

【事業内容に関するお問い合わせ先】
あわら市 経済産業部 商工労働課
電話番号：0776-73-8030
E-mail：syouko@city.awara.lg.jp

【本プラットフォームに関するお問い合わせ】
㈱福井銀行　営業支援グループ 地域創生チーム
TEL：0776-26-9760
E-mail：fbk01804@fukuibank.jp

お申込方法　＜申込締切：11月22日（水）＞

「福井銀行ホームページセミナー情報」からお申込みください。
https://www.fukuibank.co.jp/seminar
●会場の都合により先着順による予約制とさせていただきます。お申込確認票などは送付いたしませんので、ご来場の際には受付にてお名前をお伝えください。お申込人数が超えた場合のみ、ご連絡させていただきます。お申込みいただいた方にはアンケートを送付させていただきます。ご協力をお願いいたします。

※ご参加いただくみなさまの個人情報は、本プラットフォーム運営者間のみ、かつ、プラットフォームの運営を行う範囲内で共有させていただきますので、あらかじめご了承いただきますようよろしくお願いいたします。

主催　｜　㈱福井銀行、㈱福邦銀行、財務省北陸財務局、㈱日本政策投資銀行、福井県、福井市
協力　｜　あわら市

JR芦原温泉駅前の更なる賑わい創出を目的とした ａキューブ部分の利活用について

当市では、令和6年3月16日の北陸新幹線JR芦原温泉駅開業を控え、駅前に更なる賑わいを創出するために、現aキューブ部分の利活用を下記のとおり検討しております。

民間事業者の皆さまには利活用案に対するご意見や民間活力の導入可能性についてお伺いし、今後の基本計画の策定の参考としたいと考えております。

また、基本計画の策定後、令和6年度において、利活用事業者の募集等を検討する予定です。

1.現ａキューブ部分の概要

①位　　置：JR芦原温泉駅正面、西口立体駐車場(300台駐車可能)に隣接
②周辺施設：JR芦原温泉駅、西口賑わい施設「アフレア」
　　ビジネスホテルプライムイン福井あわら、駅前商店街等
③敷地面積：1322.37㎡（約400坪）
④用途地域：商業地域（建ぺい率：80%　容積率：400%）

2.利活用にあたって

あわら市としては…

〇アフレアにおける事業を補完する形で賑わいづくりを行う。

〇夜の賑わい創出を検討したい。

〇新幹線の乗降客のほかに、市民を対象とした施設としたい

3.利活用(案)

複数の飲食店や小売店が入居しており、高校生や大学生といった
若者が電車などの空き時間にゆったりできる空間を併設した複合施設

今回のフォーラムでは、民間事業者の皆さまに、現aキューブ部分は解体した上で複合施設を新設するという前提で、この案の採算性等の実現可能性についてお伺いしたいと考えています。

また、この案以外の利活用(案)についても広くご提案いただきますと幸いです。